

第5次鈴鹿市総合計画

平成18年度版 実施計画 微調整

【投資的事業分】

平成19年3月

鈴 鹿 市

目 次

■ 実施計画（平成18年度版）投資的事業の微調整について	1
------------------------------	---

■ 政策の柱別計画（新規・追加分）

第1章 人と文化を育むまちづくり

単位施策－5 公民館排水施設整備（文化振興部：新規）	2
単位施策－9 公立保育所環境整備（保健福祉部：追加）	3
単位施策－17 運動施設安全対策改修（文化振興部：新規）	4
単位施策－17 西部体育館集落排水繋ぎ込み工事（文化振興部：新規）	5
単位施策－19 佐佐木信綱記念館等資料館耐震化・修繕（文化振興部：追加）	6

第2章 環境と共生するまちづくり

単位施策－25 クリーンセンター施設整備（環境部：新規）	7
単位施策－25 長法寺町農業用施設整備（環境部：新規）	8
単位施策－36 収骨用電動キャリア台車更新（環境部：追加）	9

第3章 誰もが暮らしやすいまちづくり

単位施策－43 老人福祉施設建設費等補助（保健福祉部：追加）	10
--------------------------------	----

第4章 いきいきとした地域と活力を生み出すまちづくり

単位施策－80 漁港施設補修（産業振興部：新規）	11
単位施策－83 畜産環境施設整備（産業振興部：追加）	12
単位施策－90 鼓ヶ浦海水浴場監視塔建替（産業振興部：新規）	13

第5章 安全で安心できるまちづくり

単位施策－96 港整備交付金事業負担金（土木部：新規）	14
-----------------------------	----

実施計画（平成18年度版）投資的事業の微調整について

「みんなで築く鈴鹿夢プラン」に基づく「実施計画」は、「行財政経営計画」に合わせ、平成18年度から平成20年度の3か年固定方式で策定しましたが、時間の経過とともに計画と現状との間に乖離が生じることから、平成18年度補正予算及び平成19年度当初予算の編成状況を見て、投資的事業について下記の考え方により調整しました。

1 調整の対象となる提案の考え方

- 一般行政枠で対応する投資的事業で下記に該当する事業
 - (1) 前年度の計画策定時に掲載漏れ事業として企画課に報告があり、今回追加する事業
 - (2) 平成18年度補正予算編成時に内示を受けた新規事業
 - (3) 平成19年度当初予算編成時に内示を受けた新規事業

2 微調整の方法

- 該当する事業のある所属は、実施計画書及び関係資料を、主管課を通じて企画課へ提出する。
- 掲載漏れ事業は、提案事業に関する事務事業評価シートおよび単位施策評価シートを添付する。（平成17年度の評価分）
- 提出された実施計画書等は、企画課が個別にヒアリングする。

3 提案提出期限

- 平成19年度当初予算新規事業：平成19年2月28日（水）
- 掲載漏れ及び平成18年度補正予算新規事業：平成19年3月2日（金）

4 その他

- 原則として、新規事業のみを微調整の対象としました。
- 継続事業の変更については、次年度の実績報告の際に併せて行うこととしました。

※ 本微調整掲載事業に関する平成18年度及び平成19年度予算は、全て市議会の議決を得ています。

■政策の柱別計画

第1章

人と文化を育むまちづくり



実施計画書

所属	文化振興部 生涯学習課	単位施策 番号	5
----	----------------	------------	---

政策の柱	人と文化を育むまちづくり	施策	学びの場の充実
政策	「生きる力」を生涯にわたり育むまちをつくります	単位施策	社会教育・生涯学習環境の向上

事業名	公民館排水施設整備					
事業区分	新規・継続	補助・単独	経費区分	会計区分		
			消費・投資	一般・企業・特別・事業		
事業計画期間	事業開始：平成19年4月～事業終了：平成21年3月					
事業の目的	公共用水域の水質保全のため、生涯学習推進と地域づくりの拠点となる公民館に排水施設を整備する。					
事業の内容	下水道及び集落排水の供用開始に伴い、公民館に下水道及び集落排水を接続する。					
事業の問題点等とその対応策						
目標	指標名	排水施設を整備する公民館数				
	目標数値（平成18年度）	—	目標数値（平成19年度）	1		
	目標数値（平成20年度）	2	実績（平成16年度までの累計値）	—		
事業計画 (単位：千円)						
年度	各年度の事業内容	事業費	財源内訳			
			国県支出金	地方債	その他	一般財源
平成17年度 (決算)						
平成18年度						
平成19年度	鈴峰公民館 集落排水接続	5,000				5,000
平成20年度	椿公民館 集落排水接続 飯野公民館 下水道接続	10,000				10,000
合計(H18~H20)		15,000				15,000
平成21年度 以降						
総事業費		15,000				15,000

実施計画書

所 属	保健福祉部 子育て支援課	単 位 施 策 番 号	9
--------	-----------------	----------------------------	---

政策の柱	人と文化を育むまちづくり	施 策	子どもを育てやすい環境づくり
政 策	「生きる力」を生涯にわたり育むまちをつくります	単 位 施 策	子育て支援環境の整備促進

事 業 名	公立保育所環境整備					
事 業 区 分	新規・ <u>継続</u>	補助・ <u>単独</u>	経費区分			
			消費・ <u>投資</u>			
	会計区分					
	<u>一般</u> ・企業・特別・事業					
事業計画期間	事業開始：平成17年4月 ～ 事業終了：平成21年3月					
事業の目的	老朽化しつつある公立保育所の設備整備及び保育環境整備を計画的に実施することにより、保育児童の健全な発育と安全確保を図る。					
事業の内容	保育児童の発育・発達や生活の変化に伴い、保育環境を維持するためエアコン等を計画的に設置し、児童の健康維持・安全確保のため、必要に応じて手洗い・紫外線防止設備・インターホンを設置する。また、多様な保育需要に対応すべく、送迎用駐車場や下水設備等を行う。雨漏り修繕・外壁塗り替えも実施する。					
事業の問題点等とその対応策	工事期間中における児童等の安全確保が不可欠であるため、保育や園行事に支障が出ないように、閉園日を中心に工事を行うため、施工業者の協力が必要となる。					
目 標	指標名	保育所整備箇所数（複数事業）				
	目標数値（平成18年度）	12箇所	目標数値（平成19年度） 12箇所			
	目標数値（平成20年度）	5箇所	実績（平成16年度までの累計値） —			
事業計画 (単位：千円)						
年 度	各年度の 事業内容	事業費	財 源 内 訳			
			国県支出金	地方債	その他	一般財源
平成17年度 (決算)	エアコン他設置工事	19,935				19,935
平成18年度	エアコン他設置工事,	7,950				14,950
	整備工事(下水)	7,000				
平成19年度	エアコン他設置工事,	4,000				10,000
	整備工事(保育室)	6,000				
平成20年度	雨漏り補修工事,	8,000				18,000
	エアコン他設置工事, 整備工事(駐車場)	10,000				
合計(H18~H20)		42,950				42,950
平成21年度 以降						
総事業費		62,885				62,885

実施計画書

所属	文化振興部 スポーツ課	単位施策 番号	17
----	----------------	------------	----

政策の柱	人と文化を育むまちづくり	施策	生涯スポーツの推進
政策	「生きる力」を生涯にわたり育むまちをつくります	単位施策	快適に利用できる運動施設の整備・充実

事業名	運動施設安全対策改修					
事業区分	新規・継続	補助・単独	経費区分		会計区分	
			消費・投資		一般・企業・特別・事業	
事業計画期間	事業開始：平成18年4月～事業終了：平成22年3月					
事業の目的	埼玉県ふじみ野市のプール事故を受け、市民プールを始めとする運動施設の安全点検を行い、市民が安心して利用できるよう、不備面の改修、補強工事を実施し、利用者の安全を確保する。					
事業の内容	<ul style="list-style-type: none"> ○ 市民プール（50m）の底面塗装工事 13,650千円 ・底面の塗装が剥がれ、不鮮明な部分があるため、安全対策のため整備する。 ○ 市立体育館安全対策工事 2,797千円 ・欠落している観客席階段の滑り止めの改修を行う。 ○ 西部野球場安全対策工事 ・バックネット衝突防止カバーを設置する。 2,200千円 ・照明棟のライトの取替工事を実施する。 23,545千円 					
事業の問題点等とその対応策	事故防止のため早急な対応が必要である。					
目標	指標名	施設整備率				
	目標数値（平成18年度）	13.5%	目標数値（平成19年度）	13.5%		
	目標数値（平成20年度）	62.4%	実績（平成16年度までの累計値）	—		
事業計画 (単位：千円)						
年度	各年度の事業内容	事業費	財源内訳			
			国県支出金	地方債	その他	一般財源
平成17年度 (決算)						
平成18年度	照明棟のライト取替工事	5,717				5,717
平成19年度						
平成20年度	市立体育館安全対策工事 照明棟のライト取替工事	20,625				20,625
合計(H18～H20)		26,342				26,342
平成21年度以降	市民プールの底面塗装工事 バックネット衝突防止カバーの設置	15,850				15,850
総事業費		42,192				42,192

実施計画書

所 属	文化振興部 スポーツ課	単位施策 番 号	17
--------	----------------	-------------	----

政策の柱	人と文化を育むまちづくり	施 策	生涯スポーツの推進
政 策	「生きる力」を生涯にわたり育むまちをつくります	単位施策	快適に利用できる運動施設の整備・充実

事業名	西部体育館集落排水繋ぎ込み工事					
事業区分	新規・継続	補助・単独	経費区分	会計区分		
			消費・投資	一般・企業・特別・事業		
事業計画期間	事業開始：平成19年4月 ～ 事業終了：平成20年3月					
事業の目的	公共用水域の水質保全のため、西部体育館の集落排水繋ぎ込み工事を行う。					
事業の内容	浄化槽を撤去する。 公共ますまでの宅内排水管を設置する。					
事業の問題点等とその対応策	工事期間中の駐車場が一部使用できなくなるため、隣接の鈴峰中学校の駐車場を利用してもらうようにする。					
目標	指標名	施設整備率				
	目標数値（平成18年度）	—	目標数値（平成19年度）	100%		
	目標数値（平成20年度）	—	実績（平成16年度までの累計値）	—		
事業計画 (単位：千円)						
年 度	各年度の事業内容	事業費	財 源 内 訳			
			国県支出金	地方債	その他	一般財源
平成17年度 (決算)						
平成18年度						
平成19年度	集落排水繋ぎ込み工事	2,500				2,500
平成20年度						
合計(H18~H20)						
平成21年度以降						
総事業費		2,500				2,500

実施計画書

所 属	文化振興部 文化課	単位施策 番 号	19
--------	--------------	-------------	----

政策の柱	人と文化を育むまちづくり	施 策	伝統文化の保護・保存・継承
政 策	魅力ある「すずか文化」を受け継ぎ、生み出していきます	単位施策	郷土の歴史や文化財に親しめる施設の充実・活動促進

事業名	佐佐木信綱記念館等資料館耐震化・修繕					
事業区分	新規・ <input type="checkbox"/> 継続	補助・ <input type="checkbox"/> 単独	経費区分		会計区分	
			消費・ <input type="checkbox"/> 投資		<input type="checkbox"/> 一般・企業・特別・事業	
事業計画期間	事業開始：平成16年4月～事業終了：平成22年3月					
事業の目的	佐佐木信綱記念館の生家及び各資料館は、古い民家を資料館等として活用しており、建物を維持することや来館者等が安心して見学できるように、耐震化・修繕を行う。					
事業の内容	佐佐木信綱記念館の生家、庄野宿資料館等の耐震調査を行い、耐震・修繕工事等を行う。					
事業の問題点等とその対応策	市指定文化財の建造物等の耐震施工により、現状を変更することになるが、見えない部分で補強できるよう、県や文化財調査会等の指導を得る。 修繕等は開館業務に支障をきたすので、来館者等に影響の少ないよう工事期間を限定する。					
目標	指標名	資料館等の耐震調査・設計・施工事業進捗率				
	目標数値（平成18年度）	5%	目標数値（平成19年度）	16%		
	目標数値（平成20年度）	70%	実績（平成16年度までの累計値）	2%		
事業計画 (単位：千円)						
年 度	各年度の事業内容	事業費	財 源 内 訳			
			国県支出金	地方債	その他	一般財源
平成17年度 (決算)	佐佐木信綱記念館 生家耐震補強設計	494				494
平成18年度						
平成19年度	佐佐木信綱記念館 生家耐震設計	2,000				2,000
平成20年度	佐佐木信綱記念館 生家耐震施工	10,000				10,000
合計(H18～H20)		12,000				12,000
平成21年度 以降	各資料館耐震調査 及び設計施工	5,155				5,155
総事業費		18,090				18,090

■政策の柱別計画

第2章

環境と共生するまちづくり



実施計画書

所 属	環境部 クリーンセンター	単位施策 番号	25
--------	-----------------	------------	----

政策の柱	環境と共生するまちづくり	施 策	ごみの減量に向けた 4Rの活動の推進
政 策	環境への負荷の少ない 循環型社会を進めます	単位施策	ごみ, し尿などの適正処理による 健全な環境の確保

事業名	クリーンセンター施設整備					
事業区分	新規・継続	補助・単独	経費区分	会計区分		
			消費・投資	一般・企業・特別・事業		
事業計画期間	事業開始：平成18年10月～事業終了：平成23年3月					
事業の目的	建設後18年を経過し、施設の老朽化が著しい状況であることから、改修を施し施設利用の延命化を図る。					
事業の内容	し尿受入設備、水処理設備及び、その他関連設備を改修する。					
事業の問題点等とその対応策	現有施設が稼働中での改修工事につき、工事中の運転管理が困難となるが、業務に支障のないよう細心の注意を図ること。					
目標	指標名	整備率				
	目標数値（平成18年度）	0.36%	目標数値（平成19年度）	16.30%		
	目標数値（平成20年度）	28.99%	実績（平成16年度までの累計値）	—		
事業計画 (単位：千円)						
年 度	各年度の 事業内容	事業費	財 源 内 訳			
			国県支出金	地方債	その他	一般財源
平成17年度 (決算)						
平成18年度	施設整備基礎調査	1,000				1,000
平成19年度	施設整備実施計画 ・し尿貯留槽整備	45,000		30,000		15,000
平成20年度	受入用各水槽整備	80,000				80,000
合計(H18~H20)		126,000		30,000		96,000
平成21年度 以降	設備機器及び 配管整備	150,000				150,000
総事業費		276,000		30,000		246,000

実施計画書

所 属	環境部 廃棄物対策課	単 位 施 策 番 号	25
--------	---------------	----------------------------	----

政策の柱	環境と共生するまちづくり	施 策	ごみの減量に向けた 4Rの活動の推進
政 策	環境への負荷の少ない 循環型社会を進めます	単 位 施 策	ごみ、し尿などの適正処理による 健全な環境の確保

事 業 名	長法寺町農業用施設整備					
事 業 区 分	新規・継続	補助・単独	経費区分		会計区分	
			消費・投資		一般・企業・特別・事業	
事業計画期間	事業開始：平成19年4月 ～ 事業終了：平成21年3月					
事業の目的	旧廃棄物最終処分場周辺（長法寺町）の農業基盤を整備する。					
事業の内容	旧廃棄物最終処分場の地区より要望のあった農業用ポンプ2箇所（北清水ポンプ、桑田垣内ポンプ）を、老朽化に伴い改修する。					
事業の問題点等 とその対応策	地元要望により事業を実施しているため、実施時期が予測できない。					
目 標	指標名	整備率				
	目標数値（平成18年度）	—		目標数値（平成19年度）	50%	
	目標数値（平成20年度）	100%		実績（平成16年度までの累計値）	—	
事業計画 (単位：千円)						
年 度	各年度の 事業内容	事 業 費	財 源 内 訳			
			国県支出金	地方債	その他	一般財源
平成17年度 (決算)						
平成18年度						
平成19年度	農業用ポンプの さく井工事	20,000				20,000
平成20年度	農業用ポンプの さく井工事	15,330				15,330
合計(H18~H20)		35,330				35,330
平成21年度 以降						
総事業費		35,330				35,330

実施計画書

所 属	環境部 環境政策課	単位施策 番号	36
--------	--------------	------------	----

政策の柱	環境と共生するまちづくり	施 策	身近な生活環境の維持
政 策	自然環境を保全するとともに、 快適な生活環境を維持します	単位施策	斎苑の利便性の向上と 円滑な管理運営

事業名	収骨用電動キャリア台車更新					
事業区分	新規・継続	補助・単独	経費区分	会計区分		
			消費・投資	一般・企業・特別・事業		
事業計画期間	事業開始：平成18年9月 ～ 事業終了：平成18年11月					
事業の目的	開苑時より使用している台車の経年劣化に伴う不具合多発により、緊急に新台を購入し円滑な業務運営の確保に努める。					
事業の内容	老朽化した収骨用電動キャリア台車を更新する。					
事業の問題点等 とその対応策						
目標	指標名	整備率				
	目標数値（平成18年度）	100%	目標数値（平成19年度）	—		
	目標数値（平成20年度）	—	実績（平成16年度までの累計値）	—		
事業計画 (単位：千円)						
年 度	各年度の 事業内容	事業費	財 源 内 訳			
			国県支出金	地方債	その他	一般財源
平成17年度 (決算)						
平成18年度	収骨用電動 キャリア台車購入	2,100				2,100
平成19年度						
平成20年度						
合計(H18~H20)		2,100				2,100
平成21年度 以降						
総事業費		2,100				2,100

■政策の柱別計画

第3章

誰もが暮らしやすいまちづくり



実施計画書

所 属	保健福祉部 長寿社会課	単 位 施 策 番 号	4 3
--------	----------------	----------------------------	-----

政策の柱	誰もが暮らしやすい まちづくり	施 策	福祉サービスの充実
政 策	みんなで支えあう 福祉のまちをつくります	単 位 施 策	高 齢 者 福 祉 の 推 進

事業名	老人福祉施設建設費等補助					
事業区分	新規・継続	補助・単独	経費区分	会計区分		
			消費・投資	一般・企業・特別・事業		
事業計画期間	事業開始：平成17年4月 ～ 事業終了：平成21年3月					
事業の目的	三重県社会福祉施設等整備方針に沿い、「鈴鹿亀山地区広域連合第2期介護保険事業計画」及び「鈴鹿市高齢者保健福祉計画」を基本として、介護保険サービス基盤の整備、高齢者福祉サービスの充実を図るため、施設整備を実施する社会福祉法人に施設整備費の一部を補助することにより、多様化する高齢者のニーズに対応することを目的とする。					
事業の内容	介護老人福祉施設（特別養護老人ホーム）やケアハウス等の高齢者関連施設の整備を実施する社会福祉法人に、施設整備費の一部を補助する。 平成18年度に特別養護老人ホーム増床（1箇所）及び養護老人ホームの改修と、平成19年度～平成20年度にかけてケアハウス新設等に対して補助を予定している。					
事業の問題点等とその対応策	各年度ごとに「社会福祉施設等整備計画」として申請し、整備対象施設として選定されることが必要である。					
目標	指標名	施設整備数（介護老人福祉施設等）				
	目標数値（平成18年度）	1施設（増床30床）	目標数値（平成19年度）	—		
	目標数値（平成20年度）	1施設（新設60床）	実績（平成16年度までの累計値）	特養7施設（420床）		
事業計画 （単位：千円）						
年 度	各年度の 事業内容	事業費	財 源 内 訳			
			国県支出金	地方債	その他	一般財源
平成17年度 （決算）	老人福祉施設建設費等補助（増床分）	11,250				11,250
平成18年度	老人福祉施設建設費等補助（増床等）	15,787	7,350			8,437
平成19年度						
平成20年度	老人福祉施設建設費等補助（新設分）	25,312				25,312
合計（H18～H20）		41,099	7,350			33,749
平成21年度 以降						
総事業費		52,349	7,350			44,999

■政策の柱別計画

第4章

いきいきとした地域と活力を生み出すまちづくり



実施計画書

所属	産業振興部 農林水産課	単位施策 番号	80
----	----------------	------------	----

政策の柱	いきいきとした地域と活力を生み出すまちづくり	施策	持続的で安定した経営基盤づくり
政策	地域経済を支える豊かな産業を活かします	単位施策	農業及び漁業関連施設の充実と後継者の育成

事業名	漁港施設補修					
事業区分	新規・継続	補助・単独	経費区分		会計区分	
			消費・投資		一般・企業・特別・事業	
事業計画期間	事業開始：平成18年12月～事業終了：平成22年3月					
事業の目的	漁港施設の老朽化により漁業活動に支障をきたしており、各漁業用施設の整備を図る事により水産振興に寄与する。					
事業の内容	白子漁港の物揚場の補修工事を実施する。 鈴鹿漁港の野積場の補修工事を実施する。 若松漁港の防潮扉の改良工事を実施する。					
事業の問題点等とその対応策	三重県の予算措置が厳しく、事業遂行に支障が出てきている。					
目標	指標名	整備率				
	目標数値（平成18年度）	16.1%	目標数値（平成19年度）	32.2%		
	目標数値（平成20年度）	48.4%	実績（平成16年度までの累計値）	—		
事業計画 (単位：千円)						
年度	各年度の事業内容	事業費	財源内訳			
			国県支出金	地方債	その他	一般財源
平成17年度 (決算)						
平成18年度	鈴鹿漁港野積場補修工事	5,000	2,000			3,000
平成19年度	白子漁港物揚場補修工事	5,000	2,000			3,000
平成20年度	白子漁港物揚場補修工事	5,000	2,000			3,000
合計(H18~H20)		15,000	6,000			9,000
平成21年度以降	若松漁港防潮扉改良工事	16,000	6,400			9,600
総事業費		31,000	12,400			18,600

実施計画書

所 属	産業振興部 農林水産課	単 位 施 策 番 号	83
--------	----------------	----------------------------	----

政策の柱	いきいきとした地域と活力を 生み出すまちづくり	施 策	持続的で安定した経営基盤づくり
政 策	地域経済を支える 豊かな産業を活かします	単 位 施 策	多面的機能が発揮でき、 自然に配慮した生産環境づくり

事業名	畜産環境施設整備					
事業区分	新規・ <input type="checkbox"/> 継続	補助・ <input type="checkbox"/> 単独	経費区分		会計区分	
			消費・ <input type="checkbox"/> 投資	<input type="checkbox"/> 一般・企業・特別・事業		
事業計画期間	事業開始：平成5年4月 ～ 事業終了：平成21年3月					
事業の目的	家畜排せつ物処理施設等を整備し、畜産環境汚染を防止するとともに、良質な堆肥をすることにより、環境保全、循環型農業を推進して健全な畜産経営の発展を図る。					
事業の内容	市内畜産農家で糞尿処理施設、機械施設等の未整備の所を整備する。畜産農家と耕種農家で団体を組織し事業を実施した場合に、市補助金20%以内を交付する。					
事業の問題点等とその対応策	畜産農家から出される家畜糞尿は、畜産公害、環境汚染などの社会的問題にもなっている。平成11年度の「家畜排せつ物の管理の適正化及び利用の促進に関する法律」の施行により、一層の処理施設等の早期整備、糞尿の適正管理が求められており、環境保全、循環型農業を推進するためにも引き続き事業を実施する。					
目標	指標名	施設等整備の実施数（乾燥ハウス、糞尿急速発酵施設、堆肥舎等施設、機械施設等）				
	目標数値（平成18年度）	3施設	目標数値（平成19年度）	3施設		
	目標数値（平成20年度）	3施設	実績（平成16年度までの累計値）	H.12年度から16施設		
事業計画 (単位：千円)						
年 度	各年度の 事業内容	事業費	財 源 内 訳			
			国県支出金	地方債	その他	一般財源
平成17年度 (決算)	処理施設等の整備	3,733				3,733
平成18年度	処理施設等の整備	4,100				4,100
平成19年度	処理施設等の整備	4,100				4,100
平成20年度	処理施設等の整備	5,000				5,000
合計(H18~H20)		13,200				13,200
平成21年度 以降						
総事業費		68,673				68,673

実施計画書

所 属	産業振興部 商業観光課	単 位 施 策 番 号	90
--------	----------------	----------------------------	----

政策の柱	いきいきとした地域と活力を 生み出すまちづくり	施 策	豊かな自然と観光資源の活用
政 策	新たな活力を生み出す産業を 振興します	単 位 施 策	観 光 資 源 の 充 実

事業名	鼓ヶ浦海水浴場監視塔建替			
事業区分	新規・継続	補助・単独	経費区分	会計区分
			消費・投資	一般・企業・特別・事業
事業計画期間	事業開始：平成19年4月 ～ 事業終了：平成20年3月			
事業の目的	鼓ヶ浦海水浴場へ訪れる海水浴客の安全管理を充実させ、リピーターとして観光客が訪れるようにする。			
事業の内容	老朽化が著しい鼓ヶ浦海水浴場監視塔を建て替える。			
事業の問題点等 とその対応策				
目標	指標名	整備率		
	目標数値（平成18年度）	—	目標数値（平成19年度）	100%
	目標数値（平成20年度）	—	実績（平成16年度までの累計値）	—

事業計画 (単位：千円)						
年 度	各年度の 事業内容	事業費	財 源 内 訳			
			国県支出金	地 方 債	そ の 他	一般財源
平成17年度 (決算)						
平成18年度						
平成19年度	監視塔建替	6,200				6,200
平成20年度						
合計(H18~H20)		6,200				6,200
平成21年度 以降						
総事業費		6,200				6,200

■政策の柱別計画

第5章

安全で安心できるまちづくり



実施計画書

所 属	土木部 河川課	単位施策 番 号	9 6
--------	------------	-------------	-----

政策の柱	安全で安心できるまちづくり	施 策	浸水・治水対策の推進
政 策	災害に強いまちづくりを 推進します	単位施策	河川・排水路の整備推進

事 業 名	港整備交付金事業負担金			
事 業 区 分	新規・継続	補助・単独	経費区分	会計区分
			消費・投資	一般・企業・特別・事業
事業計画期間	事業開始：平成19年4月 ～ 事業終了：平成24年3月			
事業の目的	三重県鈴鹿建設事務所管内の港湾（白子港，千代崎港）を整備し，利用者への利便性を改善し，地域の活性化を図る。			
事業の内容	白子港を浚渫し，係留施設を整備する。また，千代崎港を浚渫する。 （市負担割合：15%）			
事業の問題点等 とその対応策	三重県の事業であるため，事業額が事業の進捗状況に左右される。			

目 標	指標名	事業の施工予定箇所		
	目標数値（平成18年度）	—	目標数値（平成19年度）	1箇所
	目標数値（平成20年度）	1箇所	実績（平成16年度までの累計値）	—

事業計画							(単位：千円)
年 度	各年度の 事業内容	事業費	財 源 内 訳				
			国県支出金	地 方 債	そ の 他	一般財源	
平成17年度 (決算)							
平成18年度							
平成19年度	負 担 金	5,250				5,250	
平成20年度	負 担 金	7,500				7,500	
合計(H18~H20)		12,750				12,750	
平成21年度 以降	負 担 金	87,250				87,250	
総事業費		100,000				100,000	